



令和5年度企業局事業の決算がまとまりました

- 地方公営企業法第30条第1項の規定により、令和5年度事業の決算をとりまとめました。
- 電気、水道両事業ともに、純利益を計上しました。

1 各事業の状況

<>内は令和5年度当初予算数値

○ 電気事業

電力量は、基幹発電所の大規模改修等に伴う運転停止等により、予算及び前年度をともに下回りました。

純利益は、予算及び前年度を上回りました。

区分	令和5年度(a)	令和4年度(b)	増減(a-b)	(a/b)
電力量	2億2,120万8千kWh <2億3,224万3千kWh>	2億7,640万3千kWh	△5,519万5千kWh	80.0%
純利益 (税抜き)	13億7,166万8千円 <△6億1,457万7千円>	11億7,818万4千円	1億9,348万4千円	116.4%

○ 水道事業

末端給水事業の給水量は、戸当たり水量の減少により、予算及び前年度をともに下回りました。

用水供給事業の供給量は、大雨による送水制限のため、予算を下回りましたが、うるう年に伴う供給日数の増により前年度を上回りました。

純利益は、水道事業全体で前年度を下回ったものの、予算を上回りました。

区分	令和5年度(a)	令和4年度(b)	増減(a-b)	(a/b)
末端 (給水量)	1,895万m ³ <1,915万8千m ³ >	1,912万1千m ³	△17万1千m ³	99.1%
用水 (供給量)	2,957万7千m ³ <2,964万6千m ³ >	2,948万9千m ³	8万8千m ³	100.3%
純利益 (税抜き)	4億2,478万円 <5,735万5千円>	4億8,755万1千円	△6,277万1千円	87.1%

2 経営指標の状況

○ 経常収支比率（経常損益）

電気、水道両事業ともに、継続して100%を超えており「経営の健全性」が確保されています。

○ 流動比率（短期的な支払能力）

電気、水道両事業ともに、継続して100%を超えており「支払能力」が確保されています。

○ 有形固定資産減価償却率（資産の老朽化度合）

電気、水道両事業ともに、長野県公営企業経営戦略の規定に基づき、計画的な施設更新に努めています。

※ 詳細は、[別紙1](#) 及び [別紙2](#) のとおりです。

